



# よく分かる検査データの読み方 (広範囲)



(財) 倉敷中央病院臨床検査科

## PG (血糖)

糖尿病かどうか分かる!

血液中のブドウ糖のことです。インスリンが不足したり働きが悪くなると高くなります。放っておくと知らないうちに、全身の血管が傷んできます。

【臨床参考値】

75~109 mg/dl (空腹時)

## HbA1c (ヘモグロビンA1c)

1、2ヶ月前の血糖値が分かる!

過去1~2ヶ月の血糖の濃度を反映します。糖尿病で高くなります。

NGSP(国際標準)値とJDS(日本糖尿病学会)値を表示しています。

【臨床参考値】 4.6~6.2% (NGSP)

4.3~5.8% (JDS)

## AST (GOT)・ALT (GPT)

肝臓のSOSを探知する!

肝臓の細胞が壊れると上昇する酵素で、肝臓や胆道の病気の有力な指標です。脂肪肝でもやや上昇します。ASTは心臓病などでも上昇します。

【臨床参考値】

AST 10~35 IU/l

ALT 7~42 IU/l

## GTP (γ-GTP)

飲酒による肝臓病を見逃がさない!

肝臓や胆道系の異常で上昇する酵素です。アルコールの飲み過ぎや薬物などでも上昇します。

【臨床参考値】

男性 5~60 IU/l

女性 5~40 IU/l

## BUN (尿素窒素) Cr (クレアチニン)

腎臓の故障がわかる!

腎臓から尿中へ排泄される老廃物で、腎機能検査です。腎臓の働きが悪くなると尿への排泄量が減り、血液中で増えてきます。

【臨床参考値】

BUN 7~20 mg/dl

クレアチニン

男性 0.60~1.10

mg/dl

女性 0.45~0.80

mg/dl

## UA (尿酸)

痛風を見つけ出す!

腎臓の働きが悪くなったり、ビールの飲み過ぎなどで増加します。尿酸が高くなると、痛風や尿路結石、腎機能低下、動脈硬化などの原因になります。

【臨床参考値】

男性 3.5~7.0 mg/dl

女性 2.5~7.0 mg/dl

## K (カリウム)

腎臓の故障がわかる!

腎機能が悪くなると血清中で高くなります。血清Kの濃度は神経や筋肉の働きに関係し、特に心臓に大きな影響があるので、要注意です。

【臨床参考値】

3.4~4.9 mEq/l

## CRP (C-反応性蛋白)

細菌感染で高くなる!

炎症で高くなります。細菌性の感染症などがその代表です。健康でも喫煙などでやや上昇します。

【臨床参考値】

0.00~0.20 mg/dl

## TCH (総コレステロール)

コレステロールの総和!

HDL-CやLDL-Cなど、いろいろなコレステロール類の総和です。LDL-Cの増加が原因で総コレステロールが高過ぎるのは要注意です。

【臨床参考値】

130~220 mg/dl

## HDL-C (HDLコレステロール)

動脈硬化を防ぐ善玉役!

動脈硬化を防ぐ働きがあるので、低すぎるのは要注意です。低いと動脈硬化になりやすくなります。

【臨床参考値】

男性 41~85 mg/dl

女性 41~100 mg/dl

## LDL-C (LDLコレステロール)

悪玉コレステロール!

動脈硬化の最も強力な危険因子として重要です。

【臨床参考値】

70~139 mg/dl

## HBs抗原

B型肝炎ウイルスの検査です!

HBs抗原が陽性であれば、現在B型肝炎ウイルス(HBV)に感染していることを示します。

【臨床参考値】

0.05 IU/ml 未満

## HCV第2世代抗体 (HCV抗体)

C型肝炎ウイルスの検査です!

C型肝炎を診断したり、治療の経過をみます。過去にC型肝炎ウイルス(HCV)に感染したことがあったり、現在感染していると陽性となります。

【臨床参考値】

1.0 未満

## WBC (白血球)

細菌に感染したり炎症で上昇!

白血球は身体を細菌やウイルスから守る働きがあります。

【臨床参考値】

3,000~9,000 個/μl

## PLT (血小板)

減少すると血が止まりにくくなる!

血小板は出血した時に血を止める働きをしています。

【臨床参考値】

16万~36 万個/μl

## RBC (赤血球)

貧血の診断に欠かせない!

酸素を体中の組織に運び、二酸化炭素を運び出す働きをしています。

【臨床参考値】

男性 420万~550 万個/μl

女性 380万~480 万個/μl

## Hct (ヘマトクリット)

貧血の診断に欠かせない!

血液中に占める赤血球の割合をパーセント(%)で表したものです。

【臨床参考値】

男性 40~52%

女性 34~44%

## Hgb (ヘモグロビン)

貧血の診断に欠かせない!

赤血球中の大部分がヘモグロビンで、鉄を含み酸素を身体のすみずみまで運びます。

【臨床参考値】

男性 13.5~17.0 g/dl

女性 11.5~14.5 g/dl

